

消防団長研修会を北茨城市で開催

平成二十二年年度消防団長研修会が北茨城市の「五浦観光ホテル大観荘」を会場に、七月一日(木)～二日(金)の日程で開催されました。

この研修会は当協会の重要行事で、毎年茨城県との共催で実施しており、今年の出席者は、各市町村消防団長四十五名、随行者三十一名、茨城県十一名、日本消防協会二名など、合計九十二名に上りました。

研修は、最初に「茨城県消防行政の概要について」として、県消防防災課の遠藤課長、同課防災航空室の岡野室長、県立消防学校の岩島校長から順次、消防防災課の主要事業、防災航空隊の活動状況、消防学校教育訓練計画等について説明がありました。

続く「意見発表」では、阿見町消防団班長の入野美穂さんから「未来へつなげる防火教室」と題した発表がありました。

入野さんは阿見町の女性消防団員として、平日頃から幼児や高齢者への防火指導に奮闘しており、今年七月二十九日、奈良県で開催される全国女性消防団員活性化奈良大会における全国代表発表者四人の内の一人に選ばれました。(なお、奈良大会の内容は、下記のとおりです。)

全国発表の前に県内消防団長の皆様に聞いてもらおうとこの場が設けられ、堂々たる発表で全国大会当日が大いに期待される内容でした。

その後、休憩をほさんで、



6・7月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 財団法人茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 大塚 光 印刷所 富士オフセット印刷(株) (1部 15円)



後藤先生による講演



入野さんによる意見発表

消防庁の消防団員確保アドバ イザーである東北福祉大学兼任講師の後藤一蔵先生を講師にお招きして、「消防団の活性化と団員確保について」と題した講演を受けました。

この研修会は、消防団員数の減少に伴う消防防力の低下が懸念される中で、消防団員確保に取り組む全国の事例や本県の女性消防団結成に向けた取り組み等も織り交ぜながら大変参考になる内容となりました。

那珂市消防団が赤羽消防団との女性団員意見交換会を開催

那珂市消防団(女性団員を含む十八名)と赤羽消防団三十三名は、女性団員の相互交流、資質の向上、親睦の高揚を図るため、六月十三日(日)、東京都の赤羽消防署において女性消防団員意見交換会を開催しました。

那珂市消防団は女性消防団員のための研修会を実施していますが、今回は本県と大変縁の深い小澤浩子さんが副団長を務める赤羽消防団と交流したいとの意向から開催に至りました。

意見交換会では、まず「那珂市女性消防団員を応援して、共に守る私達」と題し、小澤

浩子副団長から赤羽消防団の管内状況や活動内容、全国の消防団・特別区内消防団の特性、女性消防団の抱える課題等を分かり易く講演していた。次に講演内容を元にそれぞれの団員が活発な意見・質問を寄せ合い、有意義な意見交換が盛り上がりました。



参加者全員による記念撮影

全国女性消防団員活性化奈良大会に本県より61名が参加

今年で十六回となる女性消防団員活性化大会が、七月二十九日～三十日、平城京遷都千三百年祭沸く奈良県奈良市の「なら一〇〇年会館」などで開催されました。



参加者による会場前での記念撮影



情報交流会会場にて

入っていき、消防団長の研修会での事前発表の甲斐もあって、落ち着いたとしても素晴らしい発表となり

参加、本県では取手市・牛久市・常陸大宮市・つくば市・かすみがうら市・常総市(石下・守谷市・那珂市・美浦村・阿見町・河内町・利根町の女性消防団員と、今後女性消防団の結成を予定している水戸市消防団等併せて六十一名が出席しました。

大会は、奈良市消防音楽隊と奈良市消防団カマーガード隊によるオープニングセレモニーで開幕し、式典に続き四名の女性消防団員による活動事例発表がありました。

その後、会場を「奈良ロイヤルホテル」に移して情報交流会があり、これにも参加した本県女性団員は、大会では聞けなかった活動事例や苦勞話を聞くことができて、今後の活動に大いに参考になったものと思われま

ました。アトラクションと昼食休憩を挟んだ午後の部は、三団体による火災予防啓発劇で再開し、続いて「多様化する女性消防団員活動」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

最後にプロ野球解説でお馴染みの川藤幸三氏による「人生」と題した記念講演で会場を沸かせ、大会は幕を閉じました。

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614 (代表)
FAX.029-224-4613

千波営業所 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636 (代表)
FAX.029-244-0540

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498 (代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市東原3-6-24
TEL.029 (224) 3324(代)
FAX.029 (224) 3360

10mから50mモリタの梯子車
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。

完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シバウラ小型消防ポンプ
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2本立で総ての機能をもっています。

消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店
(有) 鈴 機

石岡市国府5-2-25
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

茨城県消防救助 技術大会開催

日頃の消防救助訓練の成果を競う「第三十七回茨城県消防救助技術大会」が、六月十七日(木)茨城県立消防学校において開催されました。近年の都市構造はますます高層化・過密化の様相を呈し、さらに災害も大規模で複雑多岐にわたっており、人命に係る事故が相次いで発生し、救助活動も新しい専門知識と体力、そして高度な救助技術が求められています。

今回の大会には、県内二十六消防本部・四、三、四六名の消防職員から選ばれた精鋭三二名の隊員が、日頃の訓練の成果を發揮し、互いに持っている救助技術を披露し、技術の相互交換、研鑽の場となりました。

開会式に続き、団体競技の三種目が「ロープフリスジ救出」、「障害突破」、「引揚救助」の順に実施され、本番さながらの熱気と緊張感溢れる救助技術が披露されました。

隊員各位のこれまでのご努力とそれを支えてこられた関係者の皆様のご苦勞に敬意を表しますとともに、今後ますますのご精進とご健闘を心から祈念いたします。

なお、本大会で優秀な成績を収めたチームは、七月十四日に厚木市において開催された関東大会に出場し、立派な成績を収めました。県大会・関東大会の成績は次の通りです。



全力で走る隊員 (障害突破)



要救助者を引揚げる隊員 (引揚救助)

- 【県消防救助技術大会】
- 《陸上の部》
- ◎ロープフリスジ救出
- 一位 常陸太田市B (井坂彰 良・瀬谷祐司・西野達也・横山大輔)
 - 二位 稲敷広域A (小松崎肇 寺田友之・小貫伸太郎 山岡隆則)
 - 三位 茨城西南A (加藤嘉之・川村晃一・岩永恵生・児矢野洋)
 - 四位 笠間市A (園部喜夫・鈴木俊史・深澤弘樹・蛸澤幸太郎)
 - 五位 阿見町A (大橋徹・根本隆雄・大久保将也・富田耕史)
 - 六位 取手市A (根津広久・山崎弘二・竹村守・秋田浩平)
 - ◎障害突破
 - 一位 那珂市A (三村厚・稲川学・岩佐弘二・海老根誠・竹之内政彰)
 - 二位 日立市A (関義則・中澤研吾・鈴木健太・川上宏樹・小室友二)
 - 三位 常陸広域A (根本史人・椎名秀和・山上直宏・中川隆太・市野大樹)
 - 四位 ひたちなか市A (黒沢昌希・大内規規・伊藤章弘・立原歩夢・柴田翔平)
 - 五位 筑西広域A (刈部学・田口道雄・大和田孝・來栖成美・島田之徳)
 - 六位 水戸市A (木村和哉・大岡光治・島根雄吾・小坂匡人・庄司大輔)
 - ◎引揚救助
 - 一位 那珂市A (小高直人・會澤和久・石川悠太・平根将人・小澤卓也)
 - 二位 日立市B (櫻村和紀・高根義仁・鈴木政信・長山大輔・山崎洋平)
 - 三位 常陸広域A (飯泉好輝・小野隼人・片見洋一・桜井昌弘・等原仁史)
 - 四位 つくば市C (結束秋弘・物井正博・飯村隆弘・大野裕司・中山克哉)
 - 五位 稲敷広域A (清水道浩・中畑達也・丘野敬介・樋ノ口景太・大貫章彦)
 - 六位 北茨城市A (齋藤隆一・菊地謙二郎・加藤彰・鈴木雅俊・小谷野貴明)
 - ◎溺者搬送
 - 那珂市 (野上寿幸・永井孝裕) (九位入賞)
 - ◎溺者救助
 - 那珂市 (野上寿幸・後藤亮祐・永井孝裕) (二位入賞)
 - ◎全国大会出場
 - ◎引揚救助
 - 那珂市A (八位入賞)
 - 日立市B
 - ◎水上の部
 - ◎基本泳法
 - つくば市 (原田泰) (十四位入賞)
 - ◎溺者搬送
 - 那珂市 (野上寿幸・永井孝裕) (九位入賞)
 - ◎溺者救助
 - 那珂市 (野上寿幸・後藤亮祐・永井孝裕) (二位入賞)
 - ◎全国大会出場

消防団員幹部教育 第五十期指導員養成科終了

今年も、県立消防学校において県内各市町村から二十三名の参加を得て、消防団員幹部教育第五十期指導員養成科が、六月十一日と七月八・九日の延べ四日間の日程で行われました。

消防団員の教育訓練を担当する幹部課程ということで、「幹部の心得」をはじめ、「消



現場指揮・部隊運用「建物火災」訓練

大塚前会長の 掲額式を開催

本年五月七日をもって当協会の会長職を辞された大塚光氏の写真掲額式が六月九日(水)、大塚前会長ご夫妻をはじめ、県の幹部や協会役員の出席のもと県総合福祉会館内の協会事務局において執り行われました。

大塚前会長にあっては、前々会長の本澤昭治氏急逝の

後を受け、平成十六年六月一日から当協会会長代行として、また同年七月八日からは第七代会長として、大いに手腕を發揮され、本県消防の充実強化と当協会の発展に多大なる貢献をされました。

また、日本消防への永年の貢献により日本消防協会から特別会員の委嘱状が送られ、式当日の冒頭、記念の法被とともに葉梨会長から伝達されました。

その後、式は葉梨会長の挨拶、除幕と進み、来賓代表として県生活環境部の栗田部長さんから祝辞を頂き、最後に大塚前会長の奥様からご挨拶を頂戴いたしました。

式終了後は、会場を近隣のレストランに移し、大塚前会長を囲んで懇談会を行



日本消防協会特別会員の法被を着る大塚前会長



大塚前会長と葉梨会長による除幕

立秋を過ぎる上では秋となりましたが、残暑お見舞申し上げます。

今年は特に猛暑日となることが多く、熱中症で亡くなる方のニュースが後を絶ちません。

熱中症予防には早めの水分補給(塩分も忘れず)と休養が大事です。またまだ暑い日が続きますので体調管理にご注意ください。(な)

編集後記